

平成 30 年 1 月 吉日
大正大学カウンセリング研究所

子育て支援研修会 2017 のご案内

当研究所では、大正大学カウンセリング研究所は、開設以来 50 年にわたり、一貫して「外来相談」「臨床研究」「臨床教育」「研修」を担う機関として活動してまいりました。

地域社会の皆様には、お子さんからご家族、高齢者にいたる幅広い悩みや問題の専門的相談の場として、各種専門家には、教育、研修の場としてご活用いただけるよう、様々なプログラムを用意しています。

平成 24 年度より、研究プロジェクトのひとつとして、子育て支援に関する実践研究を継続しております。昨年度、これまでの実践からの知見や、親子関係改善プログラムの実践の一端をご紹介する研修会を開催したところ、参加者の皆様より好評をいただき、今年度も開催する運びとなりました。それぞれの現場で、少しでもお役に立てる情報を提供させていただけましたら、幸甚に存じます。

ご多用中とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成 30 年 2 月 27 日（火） 14:00～16:00（受付 13:30 より）

参加費：無 料

会 場：5 号館 5 階 551 教室

お申し込み：下記 URL にてお申し込みください（締切 2018 年 2 月 13 日（火））

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdn0I3vLjPMLUjubBAAJFpPwWo-o8ce2XZF15F0tRHYUeJBHA/viewform?c=0&w=1>

詳しくは、大正大学カウンセリング研究所 HP (http://www.tais.ac.jp/library_lab/counseling/) をご覧ください。



【お問い合わせ】
大正大学カウンセリング研究所
担当：西牧・保科

電話：03-5394-3035
(月～金 9:00～17:00)
FAX：03-5394-3041

【プログラム】

- 14:00 所長挨拶
- 14:05～15:15 親子関係改善プログラムのご紹介ならびに研修情報について
 ① ペアレントトレーニング 一地域での実践もふまえて—
 …… 井潤 知美（本学心理社会学部臨床心理学科 准教授）
- ② AF-CBT…… 犬塚 峰子（本学客員教授）
- 15:15～15:25 一休憩—
- 15:25～15:45 ③ PCIT および CARE について
 …… 大西 真美（本学心理社会学部臨床心理学科 専任講師）
- 15:45～16:00 質疑応答

*プログラムの進行上、内容を変更する場合もございます。ご了承ください。

＜本研修会でご紹介する親子関係改善プログラムの概要について＞

	① CARE	② PCIT (親子相互交流療法)	③ ペアレントトレーニング (精研式)	④ AF-CBT(家族のための 代替案:認知行動療法)
目的	親子関係をよりよいものとするコツや工夫を学び、家族の抱える問題の解決を目指す			
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・親 (子どもの年齢:2歳～児童期) * 10代の子どもへの対応もあり ・子育てに困難を抱えている親・養育者のみならず、施設職員・保育士・児童福祉司・教師・医師等の専門家も含め、子どもに関わる、すべての大人。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親と子 (子どもの年齢:2～7歳) ・DV被害母子、虐待や養育不全が起きている親子、問題行動がみられる子どもとその親。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親 (子どもの年齢:4～10歳) ・発達障害のある子どもの親。 ・子育てに困難を感じる親。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親と子 (子どもの年齢:5～17歳) ・身体的虐待など不適切な養育がみられる親子、問題行動や攻撃的行動のある子どもとその親。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個別でもグループでも実施。 ・子どもに対して、肯定的な注目を向ける方法として、積極的に行うスキルと、避けるべきスキルに分けて学ぶ。 ・ロールプレイで実践的に学んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別で実施。 ・効果的なほめ方、指示の出し方の工夫を学ぶ。 ・面接室で子どもと遊ぶ中で、学んだスキルを実践する。その際、親にはトランシーバーを利用して直接アドバイスや、スキルを上手に使っていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで実施。 ・効果的なほめ方、指示の出し方の工夫を学ぶ。 ・ロールプレイを多用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別で実施。 ・暴力や暴言に代わるよりよい方法(代替案)を見つけ、実践する。 ・親子が家でより安全に過ごすための様々なスキルを学ぶ。 ・子どものトラウマからの回復に取り組む。
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・PCITの理論的枠組みを基盤として、そのエッセンスを抽出したもの。 ・短時間のワークショップでの習得が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が遊ぶ場面に直接働きかけるユニークな方法。 (ライブコーチ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで実施することで、親同士が学びあい、支え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国で身体的虐待への有効性が実証された数少ないプログラムの1つ。